

課題分析	授業改善推進プラン
<p>1 知識・技能</p> <p>1学期に4回、スペリングコンテストを実施した。平均点正解率は90%から95%と単元で学習した語彙を十分に習得していることが分かる。</p> <p>リスニング、リーディングについては定期考査の結果から基本的な技能が身につけていると考えることができる。</p> <p>2 思考・判断・表現</p> <p>既習事項を活用し、まとまりのある文章を書くことができた。今後、様々な表現を学習し、それを活用して、よりまとまりのある文章を書くことができるようにしていきたい。</p> <p>単元ごとに、絵について英語で説明し、それについての自分の意見を述べるプレゼンテーションを行った。回を重ねるごとに、知識を活用して発表することができるようになった。</p> <p>定期考査の結果から、リスニング、リーディングについては技能を活用し、思考・判断することができていると判断できる。</p> <p>3 主体的に学習に取り組む態度</p> <p>ほとんどの生徒が課題に真面目に取り組んでいる。定期考査後、1学期にできるようになったこと、今後できるようになりたいことを書かせたところ、ほとんどの生徒が学習のねらいを理解し、今後の課題を見つけることができた。2学期、目標としたことができるよう支援していきたい。</p>	<p>1 知識・技能</p> <p><b>毎回の授業では副教材『BINGO』を使用し英単語のインプットを増やす。2学期以降もスペリングコンテストを実施し書ける英単語の数を増やしていく。</b></p> <p><b>毎回の授業では副教材『読みトレ100』を使用し、熟語等のインプットを増やすとともに初見の長文に対する読解力をつける。2学期以降も継続し、読み書きの能力を育成していく。</b></p> <p><b>授業における英語を読んだり聞いたりする機会を多く設定し、読解力の向上に努める。</b></p> <p><b>中学卒業時に多くの生徒に英検準2級相当以上の英語力を身につけさせることを目標にする。また3年次には80%以上の生徒が英検3級以上の取得を目指す。</b></p> <p>2 思考・判断・表現</p> <p><u>少人数の特性を活かし、またALTとも協力をして重点的に指導する。また文と文や内容のつながりにも留意させる。</u></p> <p><b><u>ペアで会話をし、そこで得た情報を第三者に伝える活動を継続して行っていく。少人数へ向けた発表から大人数へ向けた発表へと段階を踏みながら練習していく。また、パフォーマンステストも継続実施し、個々の思考力・判断力・表現力を振り返り、改善する機会を設ける。</u></b></p> <p>3 主体的に学習に取り組む態度</p> <p><u>授業をなるべく英語で進めるとともに、生徒が互いにコミュニケーションをとる機会を多く設ける。また、プレゼンテーションの機会も多く設定し、主体的に自分の意見を言えるようにしていく。</u></p> <p>アクティブラーニングを意識して生徒同士が学び教え合う活動を取り入れるなどの工夫をする。</p> <p>「ねらい」を明示して、自発的に学習する力を育成する。また、定期考査後などに振り返りの時間を設け、生徒が自己調整できるようにしていく。</p>